

2020年12月吉日

公益社団法人 日本助産師会会員

妊産褥婦・新生児に直接的ケアを実施している会員の皆様

研究協力依頼書

「助産師が行っている妊産婦に対する新型コロナウイルス感染予防策の実態調査」
へ参加のお願い

謹啓 時下、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

この度、厚生労働科学研究班の一環として、「新型コロナウイルス感染症流行下における、妊婦に対する適切な支援提供体制構築のための研究」（研究代表者 神戸大学産科婦人科 山田秀人）の分担研究（分担研究者 高田昌代）として、妊産婦ケアにおける新型コロナウイルス感染予防策のガイドラインを作成することを最終的な目標に取り組んでおります。

この基礎資料のために、今回、助産師による新型コロナウイルス感染予防策に関するアンケート調査により、実態を把握することを目的とした、「助産師が行っている妊産婦に対する新型コロナウイルス感染予防策の実態調査」を行います。

つきましては、調査の趣旨説明およびウェブ調査方法についてご確認いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。回答時間は約15分です。

ご多用の折、恐縮ですが、何とぞご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本研究は公益社団法人日本助産師会・一般社団法人日本助産学会にお願いをしております。両方の会員になっている方は、どちらか一方でお答えください。

研究背景

新型コロナウイルス感染症は、2019年に発見されたSARS-CoV-2により引き起こされる疾患である。2020年3月11日に世界保健機関は、COVID-19はパンデミックとなったと宣言した。

現在の日本において多くの学会からガイドラインや対策が発表されているが、COVID-19の感染予防対策の実際や母子に対するケア方法は、各施設の状況によりその施設によって対策方法を決定せざるを得ない。助産師の勤務する分娩の取り扱いの施設には、病院、診療所、助産所などがある。また、分娩や産後ケアに関しては、病院や助産所における宿泊型やデイサービス型だけではなく、助産師が利用者の訪問を行うアウトリーチ型があり、状況に応じて新型コロナウイルス感染症の感染予防対策が異なる可能性がある。2020年7月現在、施設形態やケアの提供方法による新型コロナウイルス感染症の感染予防策のガイドラインは策定されていない。

SARS-CoV-2がどのような経路により伝播するのかが未知であるため、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のガイドラインを作成するにも、現在利用可能な最善のエビデンスを利用するとともに、実際の臨床現場において受け入れと実行可能な方法を提案する必要がある。

しかし、現在、助産所や母子への訪問など、妊産褥婦に対し、どのような新型コロナウイルス感染症の感染予防策を講じているのかが分かっていない。

テーマ

助産師が行っている妊産婦に対する新型コロナウイルス感染予防策の実態調査

研究目的

実際の臨床現場において実行可能であり、現在利用可能な最善のエビデンスを利用した、妊産婦ケアにおける COVID-19 感染予防策のガイドラインを作成することを最終的な目標とする。本研究では、助産師による COVID-19 感染予防策に関する質問紙調査により、実態を把握することを目的とする。

研究の意義

研究結果は、日本の実情にあった新型コロナウイルス感染症に対する助産師ケアの体制を構築ならびに、妊産婦ケアにおける新型コロナウイルス感染予防策のガイドラインを作成の基礎資料となります。

方法

本研究は、神戸市看護大学の倫理委員会の承認を受けております。

研究期間は、倫理委員会承認後から 2021 年 3 月までです。

社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会の会員の皆様のうち、妊産褥婦・新生児に直接的ケアを実施している助産師にご協力の依頼をしています。

調査方法

質問紙票に基づいたウェブ調査。ウェブ調査はクロス・マーケティング社に依頼しています。

調査内容

- ・ 基本情報、感染予防対策について、産前産後のサポートについて、学生指導の受け入れについて、物資不足の工夫について、助成金について、助産師自身の健康管理について、助産師としての経験年数など 計 54 項目

お願いしたいこと

下記の手順で、2020 年 12 月 25 日（金）までにご回答をお願いします。

1. パーソナルコンピュータの場合は、下記の調査用サイトのアドレスにアクセスしてください。スマートフォンをご利用の場合は、下記の QR コードからアクセスしてください。

<https://rsch.jp/e07ce3108cea4a11/login.php>



2. 不明な点がありましたら、下記の問い合わせ先へ連絡いただきますようお願いいたします。

お約束すること

この研究にあなたが参加することで生じる危険や利点について

この研究に皆様が参加することの危険はほとんどありません。この研究への参加は自由であり、参加されなくても不利益はありません。全ての設問は、このアンケート調査に欠かせない重要な必須項目であることをご理解下さい。研究に参加することで、あなたが個人的に直接すぐに受ける利点はあまりないかもしれません。しかし、この研究結果は、日本の助産師ケアにおける新型コロナウイルス感染症対策に大いに役立つものと考えております。なお、回答する端末およびインターネット接続は回答者ご自身のご負担になります。

あなたの個人情報や回答が、外部に漏れることはありません

この研究と関連して得られたすべてのあなたに関する情報は、この研究以外の目的で使用されることはありません。インターネットで送られるデータは安全なサーバーを経由し、すべて暗号化処理されます。本研究は無記名の自記式ウェブ調査であり、アンケートの内容からあなたの所属機関および個人が特定される可能性はなく、アンケート結果にアクセスできるのは、この研究を担当する関係者のみです。ウェブ調査で収集されたデータは、調査会社のサーバー上から削除されたことを確認いたします。データは、外部ネットワークから遮断されたパソコンで扱い、パスワードをかけて保存します。印刷したデータなどは、鍵のかかるキャビネットに保管します。研究が終了後、本研究で集めたデータは、電子化し、当該論文等の公表後10年間保存します。また、研究の実施に関わる文書は当該論文等の公表後10年間保存した後、一切のデータを復元不可能な状態に消去、またはシュレッダーなどで細かく裁断し破棄します。

調査協力の同意と撤回について

研究参加は“同意する”をクリックしてアンケートにご回答を終了いただいた時点でデータ利用の同意と判断させていただきます。もし最初に「同意する」をクリックして途中で、同意されない場合は、そのままこのブラウザを閉じて下さい。本研究は無記名のウェブ調査のため、回答後の取り消しは不可能であることをご了解ください。

研究結果の公表について

回答の集計・分析は統計的に行い、結果は厚生科学研究報告書、学会等で公表します。また、(公社)日本助産師会、(一社)日本助産学会理事会に報告書をお送りします。

質問、研究へのフィードバック、気がかりな点などがあれば、遠慮せず、いつでもご連絡下さい。 下記のメールアドレスにEメールをお送りいただくか、電話で連絡を下さい。

調査に関するお問い合わせ先

高田 昌代 (研究代表者)

神戸市看護大学 研究室直通 078-794-8077

大学代表電話 078-794-8080

携帯電話 090-9623-8693

E-mail: mtakada@tr.kobe-cen.ac.jp